あきたけ病児保育室だより

[この写真](https://tigpig.com/archives/19504) の作成者 不明な作成者 は [CC BY-ND](https://creativecommons.org/licenses/by-nd/3.0/) のライセンスを許諾されています



**『あきたけ病児保育室』ってどんなところ？**

**「お子さんが急に熱を出した。。。」、「風邪をひいてしまい保育園や学校に行けない」**

**「仕事を休めないし、預ける人もいない。。。」そんな時、あきたけ病児保育室は、**

**あきたけ医院の2階で、病中、病後のお子さんをお預かりする保育室です。お気軽に相談ください。**

**保育時間 　月～金　８：３０～１７：３０　 土　８：３０～１３：０**

**◎保育時間： 月～金　８：３０～１７：３０　 土　８：３０～１３：００**

**＊対象年齢：概ね生後3ヵ月から小学6年生まで**

今回も予防接種の事についてお伝えできればと、思っています。「ヒブ」、「Ｂ型肝炎」と同じタイミングで接種することが多い、**「肺炎球菌」**について書かせてもらいます。

〇肺炎球菌〇

肺炎球菌は、子どものやという感染症の原因です。その他にも肺炎、気管支炎、中耳炎などを起こします。病原性が強く細菌性髄膜炎を発症すると、重症化し、てんかんや、精神発達遅延などの後遺症を残すことがあります。「肺炎球菌ワクチン」は、これらの感染症にかかるのを防ぎます。生後２ヶ月から接種できますので、「ヒブ」、「B型肝炎」と一緒に早めに接種をしましょう。

**あきたけ病児保育室**

**住所：門司区東門司２－４－１８**

**TEL：093-321-0541　または　090-6491-3697　　　　　　　病児保育室担当：　秋元　進之介**

＜副反応は、ありますか？＞

接種部分が赤く腫れる、発熱などが、起こることもあります。重症化はごく稀です。

**あきたけ病児保育室**

**住所：門司区東門司２－４－１８**

**TEL：093-321-0541　または　090-6491-3697　　　　　　　病児保育室担当：　秋元　進之介**

**〇疑問コーナー〇**

1. **「接種するかどうか、メリット、デメリットを考え、**

**どう判断したらいいですか？」**

**A：副反応のことだけでなく、かかった時のことを考えて！**

予防接種のメリットには、「かからない。」「重症化しない。」「深刻な後遺症を起こす感染から守ることが出来る。」「本人がかからないことで、周りの大切な人を感染症から守ることが出る。」などがあります。ですから、「副反応が起きる。」というデメリットだけでなく、「接種しないで感染症にかかってしまったら…..」という事も考えていくことが大切です。もしもお悩みになる場合は、かかりつけ医に相談するのが一番です。

1. **「病院によって、同時接種の考え方、順番が異なりますが、何が正しいですか？」**

**A：いろいろな選択肢と思ってください。**

「必要なワクチンを接種して感染症を予防する。」ことが目標です。そのために、いろいろな考えがあっても「正しい」のです。ですから、病院によっても違いがあっても不安になることはありません。また兄弟がいる家庭では、新しいワクチンが出てきたり、制度が変わったり事情が変わることもあるでしょう。ただ、大切にしてもらいたいことは、ワクチンを受けられる年齢になったら忘れず、早めに受けることが大切です。